

令和2年度 第2回豊橋市図書館協議会 会議要録

日時	令和2年12月4日（金） 10:30～12:00
場所	豊橋市中央図書館 集会室
委員	出席定数12名 10名出席
事務局	図書館12名 まちなか図書館開館準備室2名
議事	<p>議題</p> <p>(1) 令和元年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について</p> <p>(2) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について</p> <p>(2) 令和2年度利用者アンケート調査集計結果について</p> <p>(3) まちなか図書館（仮称）の整備について</p>
配付資料	<p>議題</p> <p>(1) 令和元年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について</p> <p>(2) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について</p> <p>(2) 令和2年度利用者アンケート調査集計結果</p> <p>(3) まちなか図書館（仮称）の整備について</p>

<議事概要>

(事務局)

本日の会議は、委員の半数以上の出席があり、会議は成立している。

議題

(1) 令和元年度決算概要、図書購入・サービス指標、事業実績について

(事務局)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

資料1の維持管理費等の予算額と決算額の差額が約1千9百万円あるが、どのような理由によるものか。また、感想として、市民一人当たりの資料購入費の金額と、図書購入冊数が毎年減っている。資料購入費の予算が増えるといい。

(事務局)

予算残額の主なものは人件費であり、人事異動の影響などにより残額が出ている。また、人件費等の残額を資料購入費等に充てることができないため、予算額と決算額に差が出る。

【委員】

予算科目の規定等で人件費を資料購入費に流用できないと思うが、今後、図書館の裁量で、図書館をより良くするための施策ができるようになると良い。

【委員】

資料購入費が平成27年度と令和2年度の予算を比較すると2割近く減っているが、登録率は5%ほど増加している。これ以上資料購入費が削られないようにお願いしたい。

(2) 豊橋市図書館条例の一部を改正する条例について

(事務局)

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

議会へ今後提出するということか。

(事務局)

12月に開催される議会へ改正案を提出する。

【委員】

議会へこの改正案を提出するということで、みなさん、よろしいですか。

(全員了承)

報告事項

(1) 豊橋市大清水まなび交流館条例施行規則の一部改正について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見があった。

<質疑応答>

【委員】

団体貸出しと学校貸出しが大清水図書館でも可能になるということで、より多くの小学校で図書館の図書が利用されることにつながる。今はタブレット端末などもあるが、子ども頃から、図書に触れることで図書に親しんでほしい。そのためにも大変良い制度だと思う。

(2) 令和2年度利用者アンケート調査集計結果について

事務局より、配付資料に基づき説明。質問等は特になし。

(3) まちなか図書館（仮称）の整備について

事務局より、配付資料に基づき説明。各委員より以下の意見・質問があった。

<質疑応答>

【委員】

障害者・高齢者への配慮としてエレベーターの設置はあるか。

(事務局)

館内だけの移動手段として2階と3階を行き来するエレベーターがある。また、駅前大通りから図書館の2階につながるエスカレーターと施設共用のエレベーターもあり、共用エレベーターからも図書館に入館することができる。

【委員】

図書館利用者用の駐車場、駐輪場の設置はあるか。

(事務局)

駐輪場はまちなか図書館（仮称）分として200台分を確保している。駐車場については、こども未来館「ここにこ」や穂の国とよはし芸術劇場「プラット」と同様の駐車券サービスを提供できるように検討している。

【委員】

まちなか図書館と地区市民館との連携について、まちなか図書館まで来館するのが大変な方も多いため、ネットワーク館を増やすことはできないか。

(事務局)

ネットワーク館を増やしていきたいという考えもあるが、現在も非ネットワーク館に配本する体制は整えており、地区市民館・校区市民館でもリクエストがあれば向山図書館を通じて配本できるようになっている。

【委員】

図書館協議会の意見が、図書館運営の後押しになればと思う。まちなか図書館（仮称）の開館を一つの切り口として、市民の関心が高まり、まちに人が集まってくる場となれば図書館の位置づけも変わってくるものと非常に期待している。